

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ばんびーの				公表日	2025年 3 月 28 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	音楽クラスのグループの療育の際、プレイルームを使用しています(部屋が足りないため)	隣の活動室ではパソコン療育を行っているので、音楽の音が聞こえてくると集中できないため、グループ音楽は少人数ずつにして、あとは個別対応にしていこう。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		1対1(マンツーマン)にならないと支援ができないという配置にならないよう気を付けています。	人数は足りていますが、マンツーマン対応の利用者がいる場合の当配置を	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・タイムスケジュールなどは見やすくわかりやすいように工夫をしています。環境も話し合いをしながら整えています。一部段差がある箇所があるので(車椅子利用者)必ず職員が補助や介助をしています	トイレの段差が危ないので、充分注意をする必要がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		定期的に換気・掃除・消毒を行っています。プレイルームでは皆さんが楽しく過ごせるよう、大きな画面でYouTubeを観たりすることが出来るよう工夫しています。	もう少しゆっくり過ごせるよう工夫していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		デションが上がりすぎてしまったり、クールダウンが必要な利用者は静かな個室の部屋で過ごしていただいています。	水曜日はパソコンと音楽療育を同時に行っているため、クールダウンする部屋がもう一つあると良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々の業務の終わりに、アルバイト・パートの方の振り返りや質問などの時間を設け、改善しています	パート・アルバイトの振り返りの時間をもう少し増やしていけたら、もっとよくなっていくと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年の保護者向け評価表のご意見やご意向を受け止めて、改善に上げています。	保護者の方々の意見をもっと聞いてみたいので、保護者会や茶話会を設定出来たらよい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎週金曜日の週ミーティングなどで、職員の意見を聞き、日々の業務のあとには、パート・アルバイトの方の振り返りを行い業務改善に繋げています。	新入社員の意見をもっと吸い上げていきたいです。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者による外部評価は行っておりません。	外部の方の評価も聞いてみたいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修を実施しています。また外部研修も受講できるよう情報を提供し、参加しています。	外部研修もどきどき参加する機会を増やしていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎月の支援プログラム内容と、療育内容、活動の様子を通信を作成し、月末に保護者メールに添付し送信させていただいております。	他事業所の支援プログラムの公表を見て勉強し、質の向上を上げていきたいです。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		年二回の個別支援計画見直しの際に、保護者面談を実施しアセスメントを行い、お子様と保護者のニーズや課題をお聞きし、個別支援計画を作成しています。	お仕事をされているご家庭が多いので、休日面談も考えて行ければと思います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		療育の担当講師が日々記録しているケース記録をもとに、短期・長期目標の見直しを行い、毎週行う週ミーティングなどで共通の理解をし、最善の支援ができるよう検討を行っています。	一人一人の利用者に対してもっと時間がかけられたいと思います。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		担当講師が記録する日々のケース記録に、短期・長期目標を記載し、目標に対しての評価を5段階にして記録するようにしています。そのツールは職員全員が共有できるよう共有フォルダーに入れています。	社員だけでなく、担当につくパート・アルバイトの意見をもっと取り入れて行けると更に良くなると思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		療育後に日々ケース記録を記載し、それをもとにモニタリング記録表を作成し、活動の様子として記載し確認しています。	ケース記録に目を通す時間を増やしていきたいです。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		その通りさせていただいています。	家族支援、地域支援、地域連携をもっと見直して行きたいです。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		各療育のプログラムは必ず担当講師のチームで話し合い行っています。	もっとみんなの意見も取り入れて行くようにしたいです。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・季節ごとに新しいイベントを行っており、利用者たちもそれを楽しみにしています・プログラムはスキル、年齢、特性に合わせています	パソコン療育の内容は、良くてできる子とそうでない子の差が大きいため、できる子の療育内容をもっと話し合えるとよいと思います。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動と集団活動の組み合わせで、個別支援計画を作成し支援しています。	集団活動が苦手な子が多いので、集団での活動をもっと増やしていくのも良いと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		日々時間を決めて(13時30分)その日の打ち合わせを、職員全員で確認し連携して支援を行っています。	送迎に入ったりすると参加が出来ないパート・アルバイトさんがいるので、療育が始まる前に詳しく個別で伝えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		職員間で必ず打ち合わせと振り返りを行い、送迎などで参加できない場合は職員のグループラインなどで必ず共有しています。パート・アルバイトの方の振り返りもその日のうちに管理者が行うようにしています。	振り返りの時間をもっと長くとりたようにしたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々療育後に担当の講師がケース記録をとることを徹底し、業務日報の裏に閉じて保管し、改善に繋げています。	ケース記録のことを、パート・アルバイトの方にも共有できるともっとよくなると思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月ごとに保護者面談を通してモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	平日だけの保護者面談はお仕事をされているとなかなか参加ができないので、休日面談も考えていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		複数組み合わせで行っています。	継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		答えを教えるのではなく、ヒントを与えて脳の活性化を促し、なるべく自己選択できるよう支援を行っています。	自己決定できない利用者が多いので、出来るだけ自己決定力を身につけさせたいです。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		必ず管理者兼児童発達支援管理責任者が出席しています。	毎回管理者だけしか参加していないので、担当講師も一緒に参加できる体制を整えたいです。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	協力医療機関、障害福祉の関係機関と連携して支援を行っています。	学校での様子がもっと知りたいので、学校との連携を増やしていけたらと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校との情報共有(鹿本学園・白鹿特別支援学校など)はさせていただいています。送迎時の時などは担任の先生と学校での様子や事業所での様子を共有しています。トラブル発生時の連絡は常に送迎車の中にも連絡網を設置しています。	学校での様子がもっと知りたいので、学校との連携を増やしていけたらと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	同じ法人内の児童発達支援事業所との情報共有はしています。	もっと連携していけると良いと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		相談支援事業所などには情報を提供しています。	継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		児童発達支援センターの研修会には何度か参加させていただいております。	もっと参加出来るよう時間をとりたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	なかなか一緒に活動する機会がありません。	現実的になかなか難しいと思います。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	積極的に参加していません。	もっと情報が知りたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や電話、メールなどで、その日の活動の様子を伝え、コミュニケーションをとらせていただいています。	継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	手をつなぐ育成会の勉強会(自立にむけて・グループホームなど)、親亡き後のお金問題などの勉強会の情報提供などを行っています。	勉強会はとっても勉強になるので、続けて発信していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に必ず説明を行っています。	継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		年二回の個別支援計画見直しの際に、保護者面談を実施しアセスメントを行い、お子様と保護者のニーズや課題をお聞きし、個別支援計画を作成しています。	継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画の同意は必ずいただきサインをしていただいています。そしてコピーを必ずお渡しして、自宅で保管していただいています。	継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		年二回の個別支援計画見直しの際に、保護者面談を実施し、悩みなどの相談に応じています。また普段の日でも電話やメールなどで相談に応じ支援を行っています。	継続していきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		父母の会はありません。保護者の茶話会は何度か行いましたが、平日なので参加者が4、5名しか集まらず、先送りになっております。ダンスイベントの際に、保護者やご兄弟の交流ができればと思っています。	保護者会や茶話会の機会を増やしていきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ほとんどないのですが、迅速かつ適切に管理者が対応しています。	継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の療育内容、活動の様子を伝える通信を作成し、毎月末に保護者メールに添付しています。日々の活動の様子はInstagramで発信しています。	継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報は、個々のファイルに閉じて、鍵付きの書庫にて保管しています。	継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		連絡帳や保護者メール、電話にて情報伝達を行っています。	継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		ダンスクラスのイベント出演や卒業ダンスイベントに、地域の方々や他事業所をご招待し観に来ていただいております。	地域にもっと知っていただきたいので、発信していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		実施しています。	継続して行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎年水害・火災・地震訓練をどの曜日の利用者が全員参加出来るよう療育に盛り込み行っています。	継続して行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時の際にアセスメントシート・サポートシートなどに記入していただいております。面談時にも毎回確認しています。	てんかんの利用者が多いので、もっと勉強する機会を増やします。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	契約時の際に必ず、食物アレルギーのアンケートを記載して提出していただいております。医師の指示書が必要な利用者は現在いません。	医師の指示書が必要な利用者がでたら、しっかり行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理が十分された中で支援を行っています。	このまま継続します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		緊急連絡先は必ず第①、②、③まで記載していただいております。その他メールでも知らせる事になっています。	ご家族との連携を図り、安全計画の事をしっかり周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットは事業所内の共有ホルダーで見れるようになっています。	日々話し合う事や決める事が多く、あまり時間が取れないので、もっと時間をとっていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修を定期的に行っております。	もっと詳しく学べる機会を増やしていきたいです。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		記載しております。	対象の利用者がほとんどいないのが事実です。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ばんびーの

公表日 2025年3月28日

利用児童数 2025年3月23日現在 39名(家庭数38)

回収数 29

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3		2	私が見た事業所の中では、一番広いスペースを確保されていると思う。	定員人数に対しての一人当たりのスペースは十分に確保されています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1		1		職員の配置数は適切です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	2		2	・面談等で伺った際に見た限りでは、子供たちにわかりやすく壁などに貼られています・事業所に最近いつてないのでよくわかりません	わかりやすく整備し、タイムスケジュールなども見やすくしています。環境はミーティングなどで話し合い整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27			2	整理整頓されています・事業所に最近いつてないのでよくわかりません	そうじや消毒などはこまめに清潔を保つようにしています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1				個々に応じた支援が出来るよう、週ミーティングなどで常に話し合い対応させていただいています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	3				日ごろ行っている支援プログラムを公表させていただいています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1			面談の時などに話を聞いて頂き、支援計画に取り込んで頂いています。	日ごろの療育のケース記録やアセスメントシート、保護者面談などで聞かせていただいたことを分析して支援計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2				個々に応じた「本人支援」「家族支援」「移行支援」の内容を設定し、具体的な支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1				長期・短期目標を設定し、日々の療育後にケース記録を作成し、計画に対しての日々の評価を記録しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	1		パソコンプログラムの充実、見直しを希望。	活動プログラムが固定化しないよう、常に話し合って決めておりますが、パソコンプログラムは更に充実できるよう見直しを行います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	6	15		交流する機会はありませんが、交流を検討してみるのも良いと思います。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29					利用契約の時に必ず詳しく説明をおこなっております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	2				年2回の保護者面談の際に計画を示しながら、日ごろの様子などをお伝えし、支援内容の説明を行い、見直しを行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	2	2	7	年金や自立への研修会などに参加させて頂いています。	年金や自立に向けての準備、親亡き後のお金の問題、グループホームなどの勉強会のお知らせや情報提供を行っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1			何かあった時には、伝えやすい関係にあると思います。	日ごろの状況などは、メールや電話、連絡帳などで共通理解させていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26		1	2	面談時が平日のため、仕事をしていると難しい	年2回(4月・10月)の保護者面談を行っておりますが、お仕事がある保護者の方はなかなか難しいので、今後は休日面談なども考えていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1				職員がほとんど障がい者の親や兄妹なので、共感できるお悩みや行動が多く、その都度一緒に対応などを考えさせていただいております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8	3	6	12		父母の会はありません。保護者の茶話会を何度か設けていただきましたが、平日なので4～5名ほどしか集まらず、今は年に数回のダンスイベントの際に親御さんやご兄弟たちの顔合わせなどを行うだけになってしまっています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	2		1	学校の予定変更などにも対応して頂いています。	契約時などに対応体制などは説明し周知しています。いつでも相談や申し入れなどには迅速かつ適切に対応させていただいているつもりです。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2				情報伝達は連絡帳や、Gメール、事業所携帯などでさせていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	2			プリントでいただいています。	通信は来月の療育内容と予定を作成し、毎月月末に保護者一斉メールにて送信しています。日々の療育はInstagramにてアップし、自己評価の結果は毎年ホームページにて公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1		1		利用者一人ひとりの個人ファイルを作成し、鍵付き書庫に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	1	4	・避難訓練は適切になされているか？それに伴った報告	それぞれのマニュアルを策定し、社員研修を毎年行っております。保護者には契約時に必ずお伝えしております。避難訓練は(地震・水害・火災)毎年全曜日の利用者が参加出来るように療育に盛り込んでいます。Instagramでもアップしております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	2	1	4	・子供から今日は避難訓練があったと報告されます・避難訓練は適切になされているか？それに伴った報告	毎年火災・地震・水害訓練を療育に盛り込み実施しています。月・火曜日は区の施設を借りての療育になるので、それぞれ施設内での訓練をしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		3		契約時には必ず説明をさせていただいておりますが、安全第一に考えて支援をさせていただいています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1		3	事故等ないので、わかりません。	大きな事故やケガはありませんが、小さなことでも必ず速やかに連絡や説明をさせていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				ドアが開くと「ただいまー」と通わせていただいています。	皆さま安心感をもって通所されていること感謝です。これからも安心して通所していただけるよう、更に努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29				・毎週楽しみにしています・長期休みのプログラムもとても楽しみにしていて、助かっています・とても楽しみにしています	楽しみにさせていただいて嬉しいです。長期休みプログラムなどは3か月前から準備しミーティングを重ねて決定しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1			・いつもありがたく思っています・先生方にはとても感謝しています・お休み期間中のイベントは盛り沢山で親の私も大満足です	100%満足していただけるよう、スタッフ一同更に話し合いを重ねて進めて参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童デイサービス ばんびーの		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 7日 ～ 2025年 2月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日 ～ 2025年 2月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	福祉作業所のお祭りや地域のイベント出演を通し、ダンスクラスのみんと協力し発表できる喜び・達成感を十分に味わい成長できる支援を行っている(親御さんや沢山の方々に見ていただける機会を大切にしている)	なるべく公共の交通機関や公共の施設・場所でのルールなどの学び・経験のため、長期休みなどはお出かけや、工場見学、外食(決められた金額から食べたい物を選び・注文し・支払う)などのプログラムを取り入れ、2か月～3か月ほど前から計画を立てて実行している	職員のレベルアップのための研修実施
2	パソコンプログラムを通してスキルをあげ、将来の自立した生活に活かせるよう支援を行っている	お題入力の56単語を1分40秒でどれだけ入力できたかの10位までのランキングを中間・期末発表することにより、相乗効果がある	
3	高等部卒業後の選択肢を広げるために自立訓練(自力通所練習・帰宅時や到着時に親御さんに連絡をさせるなど)を行っています。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流、家庭支援の取り組みが少ない		保護者会や保護者向けの勉強会などの実施
2			
3			